

手術室ってどんなところ??

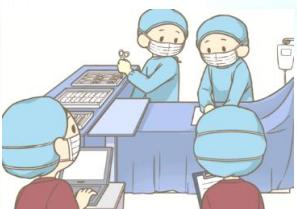
松阪中央総合病院の手術部です。
手術室看護師って何をしているのか、想像しにくいですね。
そこで手術室での看護師の仕事を、ちょこっとお見せします。

まず手術室看護師の仕事は、大きく二つに分けられます。



一つ目は『器械出し看護師』です。
よくテレビドラマなどの手術シーンで、「メスっ！」と言われてメスを渡す人がいますが、これが器械出し看護師です。
手術に必要な器械(道具)を準備し、医師に渡したり整理整頓したりすることが主な役割です。術中は手術の進行状況や医師の動きを見て先読みし、迅速かつ正確に器械を準備します。
また、いかに医師たちが手術しやすいかを先回りして考えて、コミュニケーションをとり、医師たちが手術に集中できるように関わります。器械出し看護師がスムーズに器械を渡せることが、手術の進行にも関わってきますので、とても大切な役割です。

二つ目が『外回り看護師』です。
手術シーンで額に汗をかいた医師が「汗っ！」と言うと汗を拭く人がいます。これが外回り看護師です。実は「汗っ！」と言われることは、あまりありません(笑)。
器械出し看護師が手術を直接介助する一方で、外回り看護師は手術を外から幅広くサポートします。具体的には、手術を受ける患者さまに必要な処置、手術進行に応じた必要物品の準備、麻酔の介助、患者の状態の観察、手術の記録、環境整備など、多岐にわたります。



手術室看護師は準備がとても大変です。手術が終わっても、その次の手術の為に部屋を片付け、必要な器械や物品をセットしなければいけません。いかに準備できるかが手術進行にとっても関わってきます。

令和3年度から手術支援ロボット『ダ・ヴィンチXi』が導入されました！！
『ダ・ヴィンチXi』は、米国インテュイティブサージカル社が開発した手術用ロボットで、第四世代に当たる最新鋭機です。現在、泌尿器科で大活躍中です。



先輩から『患者さまの“声にならない声”を聴ける看護師になろう』という言葉頂きました。麻酔で眠っている患者さまや、暑い・痛いと思ってもなかなか言い出せない患者さまの“声にならない声”を聴ける、そんな看護師になりたいです。

手術室看護師について、少しは知っていただけただけでしょうか？

毎日大変ですが、とてもやりがいのある仕事です。

少しでも興味を持ってくださった方、松阪中央総合病院手術部と一緒に働いてみませんか？ お待ちしております(^_^)

